

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科		単位数	授 業 形 態						
国 語 (Japanese)		必	宮本克之 和田茂俊	3 年生 環境都市工学科		3	現国通年週2時間 古典半年週2時間						
授業概要		1, 2 年までに習得した論理的な思考力や豊かな感性をさらに深め、語彙力を高めるとともに、それらを基盤にして、より高度で正確な文章表現や口頭表現を身に付ける。また古典や現代の著名な文芸作品を通し、日本文化への理解を一層深める。											
到達目標		1、教材文に習熟し、説明的文章では筆者の主張や意図を十分理解すること。また、文学的文章では主題を理解するとともに、他者の心情や社会関係を十分理解できること。 2、論文や企業への手紙文などで自分の考えを正確に表現でき、また調べたことや自分の意見を発表することに習熟すること。 3、古文の古典講読を通し、日本の伝統的な文化や思想を十分理解できること。											
評価方法		4回の定期試験 7 0 % (古典のある半期については、現国対古典の比を 1 対 1 とする。)、提出物、小テスト、意見発表を 3 0 % として評価。 6 0 点以上を合格とする。											
教科書等		現国……『精選現代文』(筑摩書房)、『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、国語辞典。古典……『新古典名文選』(教育出版)、『用例古語辞典』(学研)。											
内 容		現 国			古 典			学習・教育目標					
第 1 週	評論 (1) 「共生システム」 ガイダンス	第 1 週			『徒然草』	[奇談]	D	D					
第 2 週	〃	第 2 週			〃		D	D					
第 3 週	〃	第 3 週			〃	[達人]	D	D					
第 4 週	〃 表現① 文章の基礎 I	第 4 週			〃		D	D					
第 5 週	小説 (1) 「美神」	第 5 週			〃	[雑感]	D	D					
第 6 週	〃	第 6 週			〃		D	D					
第 7 週	〃	第 7 週			〃	[処世]	D	D					
第 8 週	〃 表現② 感想を述べる。	第 8 週			〃	前期中間試験	D	D					
第 9 週	小説 (2) 「押絵と旅する男」	第 9 週			『徒然草』	[無常]	D	D					
第 1 0 週	〃	第 1 0 週			〃		D	D					
第 1 1 週	〃	第 1 1 週			『枕草子』	[類想]	D	D					
第 1 2 週	〃 表現③ 意見を述べる。	第 1 2 週			〃		D	D					
第 1 3 週	〃 表現④ 文章の基礎Ⅱ	第 1 3 週			〃	[随想]	D	D					
第 1 4 週	詩歌「眼」ほか	第 1 4 週			〃		D	D					
第 1 5 週	〃	第 1 5 週			古典のまとめ	前期期末試験	D	D					
第 1 6 週	小説 (3) 「舞姫」						D						
第 1 7 週	〃						D						
第 1 8 週	〃						D						
第 1 9 週	〃						D						
第 2 0 週	〃						D						
第 2 1 週	〃						D						
第 2 2 週	〃 表現⑤ 感想を述べる。						D						
第 2 3 週	表現⑥ 手紙の書き方	後期中間試験					D						
第 2 4 週	評論 (2) 「Not I, not I…」						D						
第 2 5 週	〃						D						
第 2 6 週	〃						D						
第 2 7 週	〃						D						
第 2 8 週	〃						D						
第 2 9 週	表現⑦実用的な文章を書く「小論文のかた						D						
第 3 0 週	現代文のまとめ ち」	後期期末試験					D						
(特記事項) 将来の卒業研究発表等に向けて正しい文章で感想や意見を書くことや、口頭発表することを重視する。			JABEE との 関 連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C-1	C-2	C-3	B	B	D	C	B
			・教育目標								◎		

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

(現代文)

第1週～第4週 導入、評論「共生システム」

「個」を中心とする世界観と「共生」に着目する世界観、それぞれの考え方の特色を理解し、「共生」という考え方がもたらす新たな結びつきの可能性について考察する。

※表現① 文章の基礎Ⅰ

漢字や語句などに関する演習をおこない、語彙を増やす。

第5週～第8週 小説「美神」

作中人物の言動からその心理を的確に読み取るとともに、人間を裏切る「美神」とは何かを考察する。

表現② 感想を述べる。

第9週～第13週 小説「押絵と旅する男」

東京に初めて生まれた近代的「都市」において、人々は何を感じ、どのように行動したか。現代のわれわれの生の原点とも言える都市生活者のまなざしを探ることで、関係に生きる「私」についての理解をさらに深める。

表現③意見を述べる。

表現④ 文章の基礎Ⅱ 文章の基礎を学び、一文を正しく書けるようにする。

第14週～第15週 詩歌「眼」ほか

現代詩における言葉のはたらきや作品の特質をとらえ、どのような世界観が表現されているか理解する。

第16週～第22週 小説「舞姫」

作中人物の言動や心理を的確に読み取り、上司・同僚・恋人等をめぐる人間関係の力学を考察し、われわれの欲望の発生について理解を深める。

表現⑤ 感想を述べる。

第23週 表現⑥手紙の書き方

企業への礼状等を中心に、手紙の書き方を学ぶ。

第24週～第28週 評論「Not I, not I…」

社会を形成する原動力としての「贈与」をめぐって、筆者の考えを正確に読み取り、われわれの社会を相対化する視座を獲得する。

第29週 表現⑦ 実用的な文章を書く「小論文のかたち」

文章の構成法を学び、正しい文章で論理的に自分の意見を表現する方法を身につける。

第30週 現代文のまとめ

(古典)

第1週～第2週『徒然草』[奇談]

奇談をめぐる文章を読み、筆者のものの感じ方や考え方を学ぶ。

第3週～第4週『徒然草』[達人]

技術に優れるために身につけておくべき心構えを学ぶ。

第5週～第6週『徒然草』[雑感]

何気ない日常生活を通して筆者が発見した、真の「心遣い」について学ぶ。

第7週～第8週『徒然草』[処世]

現代にも通じる、筆者のすぐれた知恵について学ぶ。

第9週～第10週『徒然草』[無常]

筆者が生きた時代の世界観・宗教観を学ぶ

第11週～第12週『枕草子』[類想]

筆者の鋭い感性や批評眼を文章から読み取る。

第13週～第14週『枕草子』[随想]

『枕草子』の「をかし」の美学を理解する。

第15週 古典のまとめ